

【日時】 平成 25 年 3 月 25 日（月） 午後 6 時 30 分

【場所】 本庁舎 2 階会議室 A

【審議会出席者】

- ・ 審議委員 橋本委員、金子委員、長井委員、伊藤委員
秋穂委員、野部委員、三好委員、和田委員 8 名出席
- ・ 事務局 深尾水道部長、藤嶋業務課長、池野水道施設課長、
水谷主査（工事）、橋本主査（管理）、遠藤主査（庶務）
藤本主査（給水）、松岡主査（料金）、田中主事（庶務）

【議事次第】

1. 経営審議会の成立
2. 開会
3. 議事録署名委員について
4. 議事案件
 - (1) 平成 25 年度北広島市水道事業会計予算の概要について
5. その他
 - (1) 次回審議会の開催・今後の日程等について
6. 閉会

会議録

※ ○印については発言の概要のみ表示

〈議事〉

1. 経営審議会の成立について

藤嶋課長 本日は、お忙しい中、審議会に出席していただきまして誠にありがとうございます。
審議会は経営審議会条例第5条により委員の過半数の出席で成立いたします。本日は8名出席
ですので成立いたします。

2. 開会

深尾部長 それでは、ただいまより平成24年度第3回水道事業経営審議会を開催いたします。
本日は平成25年度北広島市水道事業会計予算の概要について報告をすることにして
います。
続きまして、配布資料の確認を行います。

遠藤主査 ○配布資料の確認を行う

深尾部長 それでは、議事の進行を金子会長、よろしくお願いいたします。

金子会長 今日もよろしくお願いいたします。

3. 議事記録署名委員について

金子会長 本日の議事記録署名委員ですが、長井委員を指名させていただきます。よろしく
お願いいたします。

4. 議事案件

(1) 平成25年度北広島市水道事業会計予算の概要について

金子会長 では、議事に沿って事務局から、ご説明よろしくお願いいたします。

藤嶋課長 ○平成25年度北広島市水道事業会計予算の概要について、資料（別紙）に基づいて説明。

金子会長 平成25年度北広島市水道事業会計予算の概要について、何かご質問等ございますか。

長井委員 3ページの⑦の資産減耗費の「たな卸資産減耗費」（たな卸資産として保管している資産が破
損したり、紛失したりして、帳簿上と実地たな卸の額が一致しないときに計上する費用）につ
いてですが、具体的に「たな卸資産減耗費」として保管しているものには、どのようなものがある

のですか。また、保管するには厳格な管理が必要だと思われませんが、保管管理について、どのような責任体制になっているのか、お尋ねします。

藤嶋課長 「たな卸資産減耗費」の主なものは水道メーターです。基本的には殆ど1年以内に消費されるものです。倉庫として保管しているのは竹山高原温泉近くの水道管理センターです。出庫する際には帳簿に記載し、毎月、帳簿と突合して厳格に管理しています。その他には過去に購入した部品等があります。それらは経過的に使用できない物も出てきますが、基本的には金属製品ですから、実際には計上されることは少ないと思われま

長井委員 「たな卸資産減耗費」が生じる理由は紛失したりという管理不行き届きで生じるものですね。「固定資産除却費」と「たな卸資産減耗費」を合わせた予算額としては合計2,353万8千円ですが、その内「たな卸資産減耗費」としてはいくらあるのですか。毎年、「たな卸資産減耗費」が出てくるのでは管理が手ぬるいのではないですか。

藤嶋課長 予算には計上していますが、実際に執行したことは過去にございません。

長井委員 それでは、予算に計上すること自体おかしいのではありませんか。きちんと管理していれば無くなるものですね。無くなる物が無くなるというのは管理上に問題があるからではないのですか。

藤嶋課長 それは紛失という視点だけから見た考え方でありまして、部品等が劣化したという理由で使用できなくなる場合もありますので、予算計上しているという事情があります。

長井委員 それにしても管理を徹底していくというのが、これからの課題ですよ

藤嶋課長 水道管理センターにおいては常時、施錠をして管理人が入庫と出庫をきちんと管理していますから、個数的には数量の部分は一致しております。

金子会長 これを機会に、たな卸資産の部分の管理と評価を整理されるのが、よろしいかなと思います。

深尾部長 管理の方は業務課長からの説明のとおり、水道管理センターで帳簿をつけて、数量的には一致しております。ここに予算として載せているのは保管している物が劣化したりするからです。今年度予算としては20万円程、計上しています。

長井委員 5ページの②の配水管改良費の4行目に「また、消火栓更新では」と書いてありますが、消火栓更新というのが改良費なのか。改良であれば更新とはならないのではないかなと思います。更新というのは取り換えるということではないですか。取り換える物を改良費として支出するのは、おかしいのかなという感じがします。消火栓については以前にも申しましたが、消防署が本来、支出するのが正しいのではないかなと思われま

池野課長 消火栓に関して水道が支出した費用については、全て消防から負担してもらっています。配水管の老朽管更新事業では、入れ替える部分について消防と協議して、一般的には一緒に入れ替えてしまうという形なのです。古い物を付けるというのではなくて、全て新しい物を設置しています。

長井委員 一旦、水道事業で支払った後に、消防から費用を貰うという形ですね。

藤嶋課長 そうです。5ページの②に消火栓設置工事にかかる他会計負担金という事が書いてあります。水道事業で消火栓の工事をした後に、一般会計から、それに見合う金額を収入として受け取る形です。

長井委員 それでは消火栓更新というのは改良費なのか新たな設置費なのかの区分を明確にしてもらいたいですね。それについては6ページに④消火栓設置費というのがありますが、新設1基、設置1基とありますが、どのような違いがあるのですか。

池野課長 現地的にはどちらも新設になります。

長井委員 言葉の使い方についても、解りやすく使っていただきたいと思います。

深尾部長 わかりました。気を付けていきたいと思います。

金子会長 他に何かお聞きになりたいことはございませんか。

長井委員 2ページの【収益的支出】の①原水及び浄水費という項目がありますけれど、そこで説明された言葉として責任水量と使用料がありましたが、どのような定義ですか。

藤嶋課長 予算書の18ページに受水費の説明として基本料金が63円/m³とありますが、この部分が企業団に対して、使っても使わなくても払う責任がある部分の金額です。この部分は1日、15,195トン×365日×63円×1.05(消費税)です。ここで予算的には366,807千円となります。その次に使用料ですが5円/m³とありますが、この部分は今年1日あたり、15,316トン×365日×5円×1.05(消費税)で予算的には29,350千円となります。

長井委員 それでは、北広島市としては使用料が発生しているので、責任水量以上の水を使っているということになりますね。それとも、これは市民が使った使用料の部分の指しているのですか。

藤嶋課長 この部分は企業団と契約してまして、過去にはもっと高い受水費の量で計算していましたが、ここしばらく、1日、15,192トンという契約水量で受水費を支払っています。平成23年度の決算書を見れば分るのですが、基本的には北広島市は水利権としては年間24,000トンあるのですが、平成12年までは1日あたり17,520トンで契約していました。その後、平

成13年からは15,192トンという契約になっています。この部分は基本的に使っても使わなくても企業団に支払う基本料金の部分です。使用料の方は実際に企業団の方から貰う、1日あたりの水量で年間15,316トン見込んでいます。

長井委員 北広島市民が実際に、年間で使用する水量は何リットル程度なのですか。

藤嶋課長 平成23年度の決算書によりますと、1人あたりの1日の有収水量（料金徴収の対象となる水量）は234.7リットルになっています。

長井委員 北広島市が企業団から受け入れる水は約15,200トンですよね。北広島市民は何万トン使っているのですか。

藤嶋課長 受水池から配水池に行って各家庭に行って、お金を貰うのが有収水量となります。受水池と配水池でカウントしている水量にズレがあります。受水費で言っているのは企業団から買った水、受水池に入った水量です。この水量と皆さんの家庭に行った有収水量とは異なります。

長井委員 北広島には水源池がありませんから、この原水及び浄水費というのは全て、北広島市民が負担することになるのですか。15,220トンの水量と使用料として発生した水の分だけ使っています、仕入れていきますということになりますか。

藤嶋課長 はい。そうです。

金子会長 今の議論を聞いていて感じたことですが、これからの水道事業の経営は厳しくなって来ると思われますから長期的・戦略的な議論が必要になると考えています。この企業団との関係の部分等は市民へ説明する必要があるためにも、市民がイメージ出来るように、市民が解るようにフローチャートを作成して整理しておいた方が良いと思います。

金子会長 他に質問等は、ございませんか。それでは、予算案の審議は終了とします。

5. その他

(1) 経営審議会委員の更新・次回審議会の開催・今後の日程について

金子会長 では、その他について事務局よりお願いします。

藤嶋課長 ○経営審議会委員の更新について資料（別紙）に基づいて説明。
○今後の審議会の予定について説明。平成25年度は財政計画の策定のため8月以降に8回予定。

6. 閉会

金子会長 よろしいですか。それでは、本日の審議会はこれで終わらせていただきます。どうもお疲れ様でした。

<議事終了>

以上、会議のてん末を記録し正確を期するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

議事録署名委員